

神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第107号(通算)

令和5年6月16日(金)発行

6月も早いもので中盤となり、あと10日もすると学期末考査が始まります。そろそろ、計画を立てて準備を始めた方がいい時期です。(計画→実行→結果)

話は変わりますが、今年の梅雨は急な大雨が多くて困りものです。雨はどちらかというと暗く嫌な印象に結びつきやすいものですが、日本の梅雨は豊穡な国土を維持するのに欠かせない恵みの雨です。季節ごとの旬なものを頂けるのは、梅雨のおかげと言っても過言ではありません。とはいえ、大雨での河川の氾濫や土砂崩れなどには遭遇したくないものです。右写真は、校長室で今年も綺麗に咲いたグロキシニアです。



音楽部定期演奏会

令和5年6月4日(日)

【第45回定演】

今回で45回目の定期演奏会を開催しました。少数精鋭の6名の部員達は、音楽を楽しんでいます。薩南工業高校の吹奏楽部の皆さんと合同演奏を企画し、同じメンバーで、先日の高校音楽祭の出演を果たし、夏には吹奏楽コンクールにも合同チームとして出場を目指しています。この日は、音楽部OB&OGに加えて、いつも指導を頂いている指導者の先生方や吹上ウィンドユーザーズの有志の方々も加わった合同演奏は、普段なかなか出来ない大編成の演奏を体験しました。



ロビーコンサートもやってみました

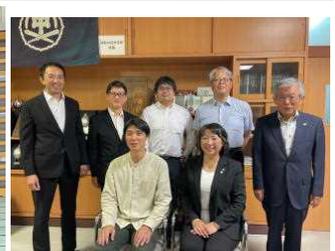


第24回神戈陵塾

令和5年6月8日(木)



学校創立100周年を記念して始まった神戈陵塾は、今回で24回目を迎えました。講師として、有村公美子氏と上野博文氏のお二人をお招きした講演会でした。



校長の美術館等巡り

令和5年5月

前回の校長通信でもお知らせしましたが、5月に、東京に行ってきました。その際の散策コースをいくつか紹介します。

① 清澄庭園 (東京・江東区清澄)



江戸時代の大名庭園の造園技法を用いて明治時代に岩崎弥太郎(三菱グループの創始者)が社員の慰安や貴賓を招待する場所として元々の大名屋敷とその庭園を買い取り整備した日本庭園です。四季折々の美しい花々を見ることが出来る日本庭園です。また、この敷地内には、松尾芭蕉が呼んだとても有名な俳句「古池や かはつ 飛こむ 水の音」の碑が移設され飾られていました。



敷地内には、ハナショウブの花も綺麗に咲いていました。【おまけ】近くにブルーボトルコーヒーのフラッグシップ・カフェ清澄白河店があります。校長の大好きなお店(カフェ)です。

② 東京都現代美術館

(東京・江東区三好)

東京都現代美術館は、誰もが気軽に現代美術と対話できるよう、美術と人をつなぐ架け橋というコンセプトで多彩な活動を企画しているところです。今回は、常設展示のみを鑑賞してきましたが、同時にクリスチャン・ディオール展が開催されており、朝から長蛇の列でした。



【注】基本的に美術館は撮影禁止のところが多いのですが、今回は、撮影可能な場所を紹介しています。